

はじめに

「栄養ケアマネジメント.xls」は、マクロ及びVBA(Visual Basic for Application)を含む、Excelブックです。ブック内には、栄養ケアマネジメント用のシートと、管理用のシートが含まれております。

◆ 栄養ケアマネジメント用

厚生労働省配布の様式集を参考に、全てA4縦の書式に統一しました。

また、記入欄の見直しも行っております。

シート名	マクロによる主な自動化
栄養スクリーニング	BMI、体重減少率、リスク判定、在院日数、年齢
栄養アセスメント I、II	JARD 比較%、BMI、理想体重、栄養補給量 (BEE 等)
栄養ケア計画	表組み (行追加・削除)
栄養ケア提供経過記憶	表組み (行追加・削除)
栄養ケアモニタリング	達成率 (栄養リスク・栄養補給量)、経過期間

◆ 管理用

シート名	内 容
基本情報	患者・入所者情報を格納します。非表示です。
参照情報	各シートで入力時に参照するデータを格納します。 表示・非表示をツールバーで切替します。 担当者、寝たきり度 (活動係数連動)、痴呆度、ストレス度 (ストレス係数連動)、摂食・嚥下障害重症度
JARD2001	JARD2001 (日本人の新身体計測基準値) 値を格納しています。 非表示です。

※ 「栄養ケアマネジメント.xls」は、一般の他のExcelブックと同じですので、自由にお客様が修正を行うことができます。しかし、修正を加えるとマクロ・VBAの修正も必要となる場合もありますので、本マニュアルを参照の上修正を加えてください。

通常、名称等の修正程度ではマクロ・VBAの修正は不要です。もしマクロ・VBAが動作しなくなったとしても、再度ダウンロードしてやり直すことも可能です。また、そのままマクロ・VBAが動作しない状態で利用しても差し支えございません。

「栄養ケアマネジメント.xls」は、お客様が自由に項目を修正できるように、という考えから、Excelで作成しています。ぜひ、細部の名称等は修正して利用してください。

※ 本操作説明書は、Excelの基本操作が出来る方を対象としております。

Excelの操作につきましては、Excelのマニュアルを参照願います。

索引

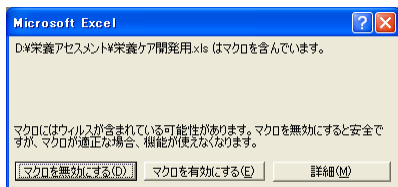
1. 利用方法.....	3
2. 操作説明.....	5
2.1. 全体共通	5
2.2. ツールバー	5
2.3. 栄養スクリーニング	7
2.4. 栄養アセスメント（Ⅰ）	8
2.5. 栄養アセスメント（Ⅱ）	14
2.6. 栄養ケア計画	17
2.7. 栄養ケア提供経過記録.....	20
2.8. 栄養ケアモニタリング.....	21
2.9. 参照情報	23
2.10. 基本情報.....	24
3. 便利な使い方	25
3.1. E x c e l のテンプレートとして登録.....	25
3.2. E x c e l ファイル名の付け方.....	25
4. Q A	26
5. 補足説明.....	27
5.1. シート保護について	27
5.2. 各シート間の参照について	27
5.3. 名前の定義について	28

1. 利用方法

①シートを開く

ダウンロードし解凍した「栄養ケアマネジメント.xls」を開きます。

次のようなメッセージが表示されます。“マクロを有効にする”をクリックしてください。



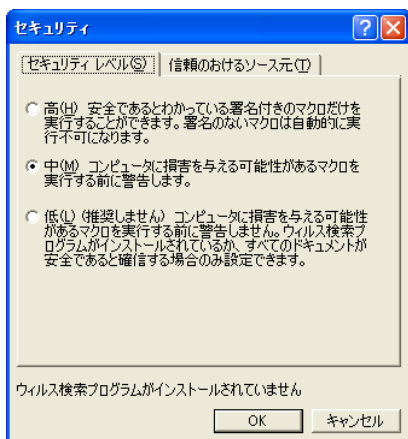
「栄養ケアマネジメント.xls」はマクロを使用しています。

“マクロを無効にする”をクリックした場合は、ツールバーやボタンの機能が動作しません。

※このような確認画面が表示されない場合、マクロの実行が無効になっている可能性があります。

次の確認及び設定を行ってください。

メニューより、『ツール』⇒『マクロ』⇒『セキュリティ』を選択し、セキュリティ画面を表示させます。



セキュリティレベルを“中”に設定し、“OK”をクリックします。

その後、一度シートを閉じてから再度開いてください。

起動時にマクロを有効にするかどうかの確認メッセージが表示されますので、“マクロを有効にする”をクリックしてください。

②基本情報の入力

栄養ケアマネジメント対象者の情報を入力します。

「OK」又は「キャンセル」をクリックすると、画面が閉じます。

基本情報が未入力のブックを開くと、最初に基本情報の入力画面が表示されます。

入力済みのブックで基本情報を修正する場合は、栄養ケアツールバーの基本情報入力をクリックし、画面を表示して入力を行います。

③各シートの入力・印刷等の操作

Microsoft Excel - 栄養ケア管理用.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(O) 挿入(I) 書式(M) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

100% MS-PDFリーダー

栄養スクリーニング

コード 20060801001

変更年月日
記入者氏名

氏名	さっぼろ たろう 札幌 太郎	男性	要介護度	要支援1
入院年月日	昭和9年1月20日 2006年2月10日	707	特記事項	

【栄養状態リスクのレベル】

身長	()cm	<input type="checkbox"/> 低リスク	<input type="checkbox"/> 中リスク	<input type="checkbox"/> 高リスク
体重	()kg			
BMI	()	<input type="checkbox"/> 18.5~25.9	<input type="checkbox"/> 18.5未満	<input type="checkbox"/> 25.0以上

※月齢の体重 変化なし 1ヶ月3~5%未満 1ヶ月5%以上

以上で、利用の前準備が完了しました。

表示されている各シートを利用し、栄養ケアマネジメントを進めます。

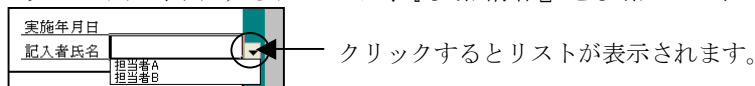
※1ブックで1名の管理です。複数名のブックを作成する為に、テンプレート化しておく便利です。(『Excelのテンプレートとして登録』参照)

2. 操作説明

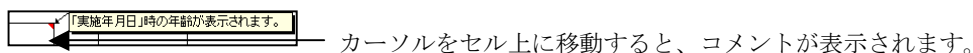
2.1. 全体共通

コンボボックスが表示されるセルがあります。コンボボックス内より選択するか、又は選択する値が無い場合は通常のセルと同じく入力する事もできます（入力不可の場合も有）。

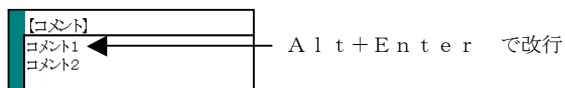
コンボボックス内に表示するデータは、『参照情報』を参照してください。



右上に赤いマークが付いているセルがあります。セルの上にカーソルを移動すると、コメントが表示されます。この表示方法は、Excel のオプションで変更できます。



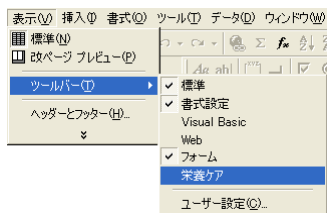
複数行の入力セルで改行する場合は、Alt+Enter（Alt キーを押した状態で Enter キーを押します）で行います。



2.2. ツールバー

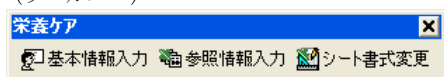
「栄養ケアマネジメント.xls」開くと、栄養ケアツールバーが表示されます。

ツールバーが表示されない場合は、メニューより選択してください。

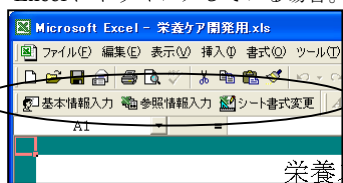


Excel のメニューより、
表示 ⇒ ツールバー ⇒ 栄養ケア を選択します。

(ツールバー)



Excel にドッキングしている場合。



・ 基本情報入力

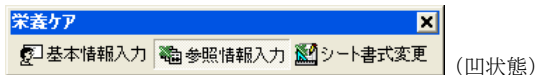
患者（入所者）情報を入力する場合に使用します。

“基本情報入力”をクリックすると、基本情報入力フォームが表示されます。

・ 参照情報入力

『参照情報』の入力を行う場合に使用します。

“参照情報入力”をクリックすると“参照情報入力”が凹状態になり、参照情報シートが表示されます。凹状態の“参照情報入力”を再度クリックすると元の平滑な状態に戻り、参照情報シートが非表示になります。

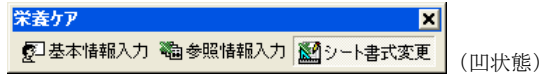


参照情報の入力を行う場合を除き、通常時は参照情報シートを非表示としてください。
非表示とすることで、誤った操作による消去を防止することができます。

- シート書式変更

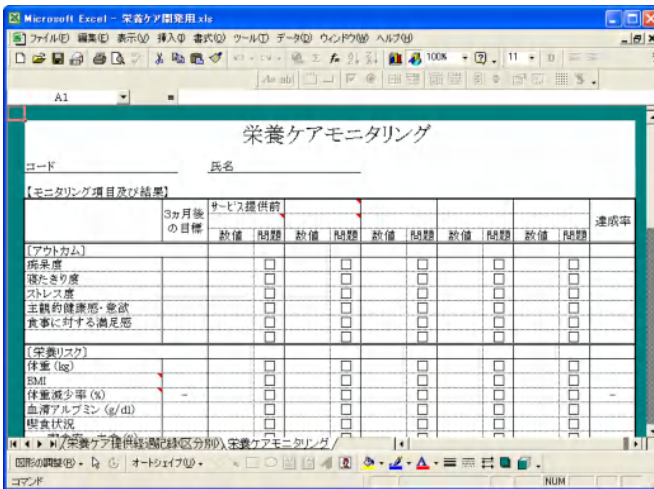
表示中のシート書式を変更する場合に使用します。

“シート書式変更”をクリックすると、“シート書式変更”が凹状態になり、書式変更が可能となります。凹状態の“シート書式変更”を再度クリックすると元の平滑な状態に戻り、書式変更が禁止されます。



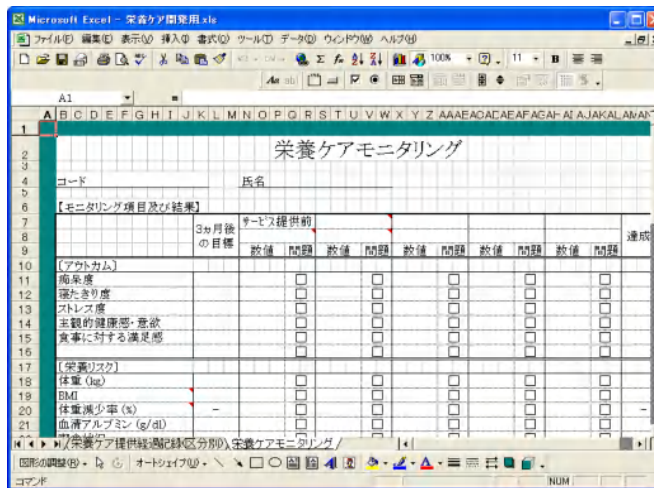
凹状態では、シート保護の解除、ウインドウオプション設定（枠線、行列番号の表示）が行われます。シートにはマクロや名前定義が行われており、間違っても消去しないように、書式変更後は、シート保護状態（“シート書式変更”が平滑な状態）に戻してください。

通常の利用時（“シート書式変更”平滑状態でのシート）



シート保護
枠線非表示
行列番号非表示

書式変更時（“シート書式変更”凹状態でのシート）



シート保護の解除
枠線表示
行列番号表示

※ シート保護をExcelメニューより独自に行い、かつパスワードを設定した場合、本ツールバーの“シート書式変更”は正しく動作しません。その際は手動でシート保護を解除してください。

2.3. 栄養スクリーニング

栄養スクリーニング用のシートです。

入力を行うセル		式が設定されているセル	
栄養スクリーニング			
コード		実施年月日	
氏名		記入者氏名	
入院年月日		7d7	特記事項
【低栄養状態リスクのレベル】			
身長	現在の状況	<input type="checkbox"/> 低リスク	<input type="checkbox"/> 中リスク
体重		<input type="checkbox"/> 18.5~29.9	<input type="checkbox"/> 18.5未満
BMI		<input type="checkbox"/> 変化なし	<input type="checkbox"/> 1ヶ月に3~5%未満
体重減少率		<input type="checkbox"/> 1ヶ月に3~5%未満	<input type="checkbox"/> 1ヶ月に5%以上
血清アルブミン値		<input type="checkbox"/> 3ヶ月に3~7.5%未満	<input type="checkbox"/> 3ヶ月に7.5%以上
食事摂取量		<input type="checkbox"/> 6ヶ月に3~10%未満	<input type="checkbox"/> 6ヶ月に10%以上
栄養補給法		<input type="checkbox"/> 3.6g/dl以上	<input type="checkbox"/> 3.0~3.5g/dl
褥瘡		<input type="checkbox"/> 3.0g/dl未満	<input type="checkbox"/> 良好(76~100%)
			<input type="checkbox"/> 不良(75%以下)
			<input type="checkbox"/> 経腸栄養法
			<input type="checkbox"/> 経腸栄養法
			<input type="checkbox"/> 静脈栄養法
			<input type="checkbox"/> 褥瘡
【コメント】			

印刷して記入用に利用します。

記入した値をExcelシートに入力することで、BMI・体重減少率・リスク判定等がマクロで自動実行されます。

再スクリーニング時は、栄養スクリーニングシートをコピーし、記入欄（青セル）をクリアして利用します。（又は新しいBOOKを利用して良いです。）

a) 計算式等

- ① 基本情報を参照します。基本情報は、ブックレベルの名前定義で参照可能です。
- ② 実施年月日現在の年齢を表示します。
- ③ 実施年月日現在の在院日数を表示します。
- ④ 身長及び体重よりBMIを計算します。
- ⑤ 1、3又は6ヶ月前の体重との比較で減少率を表示します。
- ⑥ 各チェックボックスは自動でチェック状態が設定されます。
- ⑦ 空欄の場合は摂取量平均の計算から除外されます。

b) 厚労省配布の様式例との主な差異

- ・ 体重減少率の記入内容の変更（減少率ではなく、減少率の算出基準となる体重を記入）
- ・ 食事摂取量に汁物を追加
- ・ コメント欄の追加

2.4. 栄養アセスメント（Ⅰ）

栄養アセスメント用のシートです。

低栄養リスクのレベルを問わず、全ての患者（入所者）に対して作成します。

栄養スクリーニングで、低栄養リスクが“中”又は“高”の場合は、栄養アセスメント（Ⅱ）も同時に作成してください。

入力を行うセル		式が設定されているセル	
栄養アセスメント（Ⅰ）			
コード		着手年月日	
氏名		担当看護氏名	
入院年月日	7月7	要介護度	特記事項
【基本情報】 実施日 記入者			
利用者及び家族の意向			
身体的健康状態・意欲等			
意思疎通問題	活動様式	ストレス度	倦怠度
発熱の有無	④	⑤	
【食事提供のための必要事項】 実施日 記入者			
嗜好			
禁忌			
アレルギー			
療養食の指示			
食事摂取行為			
歯の状態			
形態			
環境			
特記事項			
【多職種による栄養ケアの課題】 実施日 記入者			
低栄養			
栄養			
嚥下			
水分			
問題事項			
【身体計測】 実施日 記入者			
身長	cm	⑥	kg
理想体重	kg	⑦	BMI
下腕周径	cm	⑧	mm
上腕周径	cm	⑨	握力
【臨床検査】（検査値がわかる場合に記入） 実施日 記入者			
血清アルブミン	g/dl	血清値	クレアチニン
ヘモグロビン	g/dl	総コレステロール	BUN

本人又は家族からヒアリングした内容、及び主観的な状態評価を記入する。

ケア計画の改善目標や、モニタリング評価項目を取りまとめる為の基本情報となります。

食事を提供する為に必要となる情報を記載します。

該当する症状をチェックします。

チェックした内容は、多職種にアセスメントを依頼する必要があります。

多職種によるアセスメント結果は、栄養アセスメント（Ⅱ）に記載します。

身体計測・臨床検査値を記載します。

身長・体重・理想体重を入力するBEE等の計算が行えますので、分る所はできるだけ記載します。

未使用の項目は、削除して利用しても良いでしょう。

Excelシートに入力する事で、身体計測値のJARD対比%・BEE・必要エネルギー量等の計算がマクロで自動実行されます。

再アセスメント時は、栄養スクリーニングシートと同様に、コピーして利用します。

a) 入力欄の説明

【基本情報】

利用者及び家族の意向	<p>長期的な栄養ケアの基本路線や評価指針となるため、できるだけ完結で具体的な内容が良い。</p> <p>例)</p> <p>多少のリスクがあっても経口摂取を継続したい。</p> <p>自力で食事が摂取できるように、ADLを改善したい。</p> <p>現在の栄養・健康状態を維持したい。</p> <p>体重の減少を回復したい。</p>
主観的な健康感・意欲等	<p>栄養ケアモニタリング時のチェック項目に利用できるような内容が望ましい。</p> <p>例)</p> <p>食欲が無い。</p> <p>食事摂取時に痛みがある。</p>
意思疎通問題	<p>患者（入所者）と、意思疎通が問題なく行えるかどうか記入。</p> <p>問題がある場合は、“有”をチェックし、右欄にコメントを記入。</p>
痴呆	<p>痴呆がある場合、その痴呆度を選択。</p> <p>初期設定値として「痴呆性老人の日常生活自立度判定基準」が収録されています。これらは変更可能ですので、必要に応じ各医院（施設）で利用している尺度に修正してください（『参照情報』参照）。</p> <p>初期設定値)</p> <ul style="list-style-type: none"> I 何らかの痴呆を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している II 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。 <ul style="list-style-type: none"> II a 家庭外で上記IIの状態が見られる。 II b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。 III 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。 <ul style="list-style-type: none"> III a 日中を中心として上記IIIの状態が見られる。 III b 夜間を中心として上のIIIの状態が見られる。 IV 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。 M 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医を必要とする。

<p>寝たきり度</p>	<p>寝たきり度（生活の活動レベル）を指定します。</p> <p>初期設定値として「障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」と健常者用の活動レベルが収録されています。これらは変更可能ですので、<u>各医院（施設）で利用している尺度に修正してください（『参照情報』参照）。</u></p> <p>初期設定値）</p> <p>（ランク J）生活自立</p> <p>何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する</p> <p> J1 交通機関等を利用して外出する</p> <p> J2 隣近所へなら外出する</p> <p>（ランク A）準寝たきり</p> <p>屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない</p> <p> A1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する</p> <p> A2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている</p> <p>（ランク B）寝たきり</p> <p>屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ</p> <p> B1 車いすに移乗し、食事、排泄をベッドから離れて行う</p> <p> B2 介助により車いすに移乗する</p> <p>（ランク C）寝たきり 重度</p> <p>1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する</p> <p> C1 自力で寝返りをうつ</p> <p> C2 自力では寝返りもうたない</p> <p>（健常者向け）</p> <p> L1 身体活動レベル I</p> <p> L2 身体活動レベル II</p> <p> L3 身体活動レベル III</p>
<p>活動係数</p>	<p>活動係数は、寝たきり度に対応した数値が表示されます。寝たきり度が未指定の場合は活動係数は 1.0 となります。</p> <p>寝たきり度に対する活動係数は参照情報に収録されています。</p> <p>活動係数は、必要エネルギー量の計算に利用されますので、<u>各医院（施設）で算定した活動係数をあらかじめ設定してください（『参照情報』参照）。</u></p>

ストレス度	<p>ストレス度を指定します。</p> <p>初期設定値として5段階のレベルが収録されています。</p> <p>これらは変更可能ですので、<u>各医院（施設）で利用している尺度に修正してください（『参照情報』参照）。</u></p> <p>初期設定値）</p> <table border="0"> <tr> <td>S1</td> <td>レベル1</td> <td>術後</td> </tr> <tr> <td>S2</td> <td>レベル2</td> <td>感染症（軽症）</td> </tr> <tr> <td>S3</td> <td>レベル3</td> <td>外傷</td> </tr> <tr> <td>S4</td> <td>レベル4</td> <td>感染症（中等度）</td> </tr> <tr> <td>S5</td> <td>レベル5</td> <td>感染症（重症）</td> </tr> </table>	S1	レベル1	術後	S2	レベル2	感染症（軽症）	S3	レベル3	外傷	S4	レベル4	感染症（中等度）	S5	レベル5	感染症（重症）
S1	レベル1	術後														
S2	レベル2	感染症（軽症）														
S3	レベル3	外傷														
S4	レベル4	感染症（中等度）														
S5	レベル5	感染症（重症）														
ストレス係数	<p>ストレス係数は、ストレス度に対応した数値が表示されます。ストレス度が未指定の場合はストレス係数は1.0となります。</p> <p>ストレス度に対するストレス係数は参照情報に収録されています。</p> <p>ストレス係数は、必要エネルギー量の計算に利用されますので、<u>各医院（施設）で算定したストレス係数をあらかじめ設定してください（『参照情報』参照）。</u></p>															

【食事提供のための必要事項】

嗜好	<p>食物の好き嫌い及び習慣等を記入</p> <p>例)</p> <p>好物 — 肉全般、果物。中華・洋食を好む。</p> <p>嫌物 — 刺身類、ピーマン。特に魚卵系は絶対食べない。</p> <p>習慣 — 朝はパン食。おやつは良く食べる（和系）。</p>
禁忌	<p>禁止されている食品類があれば記入。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁止食品は無いので”無し”をチェック。 ・ワファリン服薬なので、”服薬にともなう禁止食品”をチェックし、右欄に納豆、青汁、クロレラを記入。 ・菜食主義者なので、”宗教・信条による禁止食品”をチェックし、右欄に肉類を記入。
アレルギー	<p>アレルギーがある方は、該当するアレルギー種類を全てチェック。</p> <p>”卵”、”乳”、”小麦”、”そば”、”落花生”アレルギー以外は、”他”をチェックし、右欄に記入。</p>
療養食の指示	<p>療養食の指示を記入。</p> <p>”有り”の場合、右欄に食事箋・食事種類名等を記入。</p>
食事摂取行為	<p>食事摂取時の介助状態を記入。</p> <p>”部分介助”の場合、右欄に介助内容を記入。</p> <p>例)</p> <p>食器のふたを取ったり、飲み物を専用の容器に移す。他は介助不要。</p>
歯の状態	<p>歯の状態をチェックします。</p>

形態	<p>現在の刻み状態、主食の種類等に問題がないか記入。</p> <p>”現在の形態を継続”の場合、右欄にはその形態等を記入。</p> <p>”形態を見直し”の場合は、右欄に見直しの内容を記入。</p> <p>例)</p> <p>”現在の形態を継続”をチェック、右欄に”粗刻み。”</p> <p>”現在の形態を継続”をチェック、右欄に”一週間後に再評価。”</p> <p>”形態を見直し”をチェック、右欄に”粗刻み→中刻みに変更。”</p>
環境	<p>食事摂取時の環境を記入する。</p> <p>食事場所には、現在の摂取場所及び希望があればそれを記入。</p> <p>姿勢及び食器の問題は、特定の姿勢を保つ必要性や、使用する食器具に制限がある場合、”有り”をチェックし、右欄に内容を記入する。</p> <p>例)</p> <p>食事場所 — ベッド上。食堂での摂取を希望している。</p> <p>姿勢の問題 — ”有り”をチェック。リクライニングの角度を50度位に調整 必用。</p> <p>食器の問題 — ”有り”をチェック。箸の使用不可。</p>
特記事項	<p>嚥下障害、認知症等により、食事に関して発生しうる予測可能な危険要因を記入。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水分による誤嚥が激しい為、水分摂取の際には必ずトロミを付ける。 ・毎日、家族が見守りをおこなっているが、不在の際には注意が必要。

【多職種による栄養ケアの課題】

<p>低栄養関連問題</p> <p>1 皮膚～14 医薬品</p>	<p>多職種による、アセスメント・助言等が必要と思われる項目をチェックする。</p> <p>チェックした項目については、医師、OT、STにアセスメントを依頼し、その結果を栄養アセスメント（Ⅱ）の下段（専門職によるアセスメントの結果）に記入する。</p>
<p>医薬品明細</p>	<p>14.医薬品をチェックした際に、医薬品の種類・数・投与法・食品との相互作用を記入する。</p>

b) 計算式等

- ① 基本情報を参照します。基本情報は、ブックレベルの名前定義で参照可能です。
- ② 着手年月日現在の年齢を表示します。
- ③ 着手年月日現在の在院日数を表示します。
- ④ 寝たきり度を選択すると、対応する活動係数が表示されます。『参照情報』の【寝たきり度】が利用されます。入力も可能。
- ⑤ ストレス度を選択すると、対応する活動係数が表示されます。『参照情報』の【ストレス度】が利用されます。入力も可能。
- ⑥ 0%内は、JARD2001 中央値との比較%が表示されます。
- ⑦ 身長及び体重より BMI を計算します。
- ⑧ 理想体重を計算します。
- ⑨ 上腕筋面積を計算します。

c) 厚労省配布の様式例との主な差異

- ・ 【食事提供のための必要事項】 記入欄を、チェック式に修正。
- ・ 必要エネルギーの計算に必要な係数を追加（活動係数・ストレス係数）
- ・ 【身体計測】・【臨床検査】は、アセスメントⅡでの記載項目であるが、Ⅰに含める。

2.5. 栄養アセスメント（Ⅱ）

栄養アセスメント用のシートです。

低栄養リスクのレベルが“中”及び“高”の患者（入所者）に対しては、栄養アセスメント（Ⅰ）と（Ⅱ）を作成する必要があります。

入力を行うセル		式が設定されているセル	
栄養アセスメント（Ⅱ）			
①	コード	氏名	
【栄養補給量】			
食 事	喫食日	喫食率平均	記入者
	主食(喫食率)	%	エネルギー (kcal)
	副食(喫食率)	%	たんぱく質 (g)
	汁物(喫食率)	%	水分 (ml)
種 類		1回の量(ml・g)	頻 度(回)
栄養補助食品 おやつ等			
		小 計	0 0 0
経腸栄養 経静栄養			
		小 計	0 0 0
合 計			0 0 0
【栄養補給量の算定】			
算定メソッド	BEEK (3)	× 活動係数 (4)	× ストレス係数 (5)
必要エネルギー	1.0~1.2g/日 (12)	× 標準体重 ()kg	(8)
たんぱく質	25~30ml/日 (25)	× 現在体重 (7)	(9)
水分量			(10)
補正エネルギー	応用エネルギー × 栄養改善係数 0.1~1.0 ()		(11)
たんぱく質	0.2~1.0g/日 (02)	× 標準体重 (6)	(12)
その他	補填の補正等		
		合 計	0 0 0
【評価・判定】			
栄養補給法の選択及び移行の可能性		<input type="checkbox"/> 経口移行計画対象者 摂食・嚥下障害程度 水分摂取	
食事形態に関する評価			
特記事項			
専門職によるアセスメントの結果(転記)			
総合的評価・判定		NST介入レベル <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 高度 <input type="checkbox"/> 超高度	

現状の、栄養補給量の把握を行います。
経口摂取以外についても、全ての栄養補給を把握します。

今後の栄養補給量の算定を行います。
Harris-Benedict 式による BEE の計算や、活動係数・ストレス係数を利用した必要エネルギー量の計算がマクロで自動実行されます。
低栄養の補正等を加え、最終的な栄養補給量を決定します。

栄養アセスメント（Ⅰ）・（Ⅱ）の個別内容を検討し、その評価・判定を記入します。

a) 入力欄の説明

【栄養補給量】

食事	喫食率は、3日間連続の調査を行い記入します（汁物省略可）。 エネルギー等は、1日当りの摂取量を記入します。
栄養補助食品、おやつ等	食事以外の経口摂取食品について記入します。 エネルギー等は、1日当りの摂取量を記入します。
経腸栄養、経静栄養	経管栄養を行っている場合、その経路・種類・量・回数等を記入します。 エネルギー等は、1日当りの摂取量を記入します。

【栄養補給量の算定】

算定メモ	<p>栄養補給量の算定について、補正・その他の根拠等の理由を記入します。</p> <p>例)</p> <p>必要栄養量 1532kcal で栄養ケアを開始したが、モニタリングにより栄養改善が見られない為、栄養改善係数を 1.2→1.5 に引き上げて、1838kcal に引き上げた。</p>
必要 エネルギー、たんぱく質、水分	<p>栄養補給の必要量を算出します。</p> <p>計算式には、いくつかの種類があり、これが正しいというものはありません。</p> <p>モニタリングにより過不足を注意してみてください。</p> <p>※ここでは中・高リスク者の栄養回復分の補給量は含めません</p>
補正 エネルギー、たんぱく質	<p>中・高リスク者の栄養回復分の補給量を指定します。</p> <p>計算式には、いくつかの種類があり、これが正しいというものはありません。</p> <p>モニタリングにより過不足を注意してみてください。</p>
その他	<p>火傷や褥瘡等の改善の為に必要と思われる栄養補給量の補正について、補正理由を記入し補正值を指定する。</p> <p>補正值の算出根拠は、算定メモ欄に記入しておくのが良いでしょう。</p>

【評価・判定】

栄養補給法の選択及び移行の可能性	<p>現在の栄養補給方法で十分な栄養補給が難しい場合、栄養補助食品や静脈栄養の併用等を検討し、その選択を行う。</p> <p>また、経口栄養への移行の可能性がある場合、その判定を行う。</p>
食事形態に関する評価	<p>“栄養アセスメント（Ⅰ）【食事提供のための必要事項】形態“にて、食事形態の見直し、経過観察等と記入した場合、その後の結果について記入します。</p>
専門職によるアセスメントの結果（転記）	<p>“栄養アセスメント（Ⅰ）【多職種による栄養ケアの課題】“にて、チェックされた項目に関して、多職種によるアセスメント結果を記入します。</p>
総合的評価・判定	<p>栄養アセスメント（Ⅰ）、（Ⅱ）の結果から、総合的な評価を記入します。</p> <p>低栄養状態の要因となる事項について、問題点と課題を明確にします。</p>

b) 計算式等の説明

- ① 基本情報を参照します。基本情報は、ブックレベルの名前定義で参照可能です。
- ② 主食～汁物のそれぞれ3日間（左欄）の平均%を表示します。
- ③ BEE（基礎代謝エネルギー量）を表示します。次の式で算出しています。
「男性」 $66.47 + 13.75 \times \text{体重} + 5 \times \text{身長} - 6.75 \times \text{年齢}$
「女性」 $655.1 + 9.56 \times \text{体重} + 1.85 \times \text{身長} - 4.68 \times \text{年齢}$
（身長・体重・年齢は栄養アセスメント I を参照します。）
- ④ 栄養アセスメント I の活動係数を参照します。
- ⑤ 栄養アセスメント I のストレス係数を参照します。
- ⑥ 同シート内の標準体重を参照します。
- ⑦ 栄養アセスメント I の体重を参照します。
- ⑧ 左欄（BEE×活動係数×ストレス係数）の必要エネルギー計算結果を表示します。
- ⑨ 左欄（ $1.0 \sim 1.2\text{g}/\text{日} \times \text{標準体重}$ ）の必要たんぱく質計算結果を表示します。
- ⑩ 左欄（ $25 \sim 30\text{ml}/\text{日} \times \text{標準体重}$ ）の必要水分計算結果を表示します。
- ⑪ 左欄（必要エネルギー×栄養改善係数）の補正エネルギー計算結果を表示します。
- ⑫ 左欄（ $0.2 \sim 1.0\text{g}/\text{日} \times \text{標準体重}$ ）の必要たんぱく質計算結果を表示します。

c) 厚労省配布の様式例との主な差異

- ・ 生活機能・身体機能・身体計測・臨床検査を、アセスメント I へ移動。
- ・ 2回分の記入欄を1回分のみにし、2面構成であったのを1面に集約。
- ・ 喫食率の3日分の欄を追加。
- ・ 栄養補給量の計算式を追加（算出根拠を細分化）。
- ・ 経口移行計画対象者、NST介入レベルのチェック欄追加

2.6. 栄養ケア計画

栄養ケア計画用のシートです。

低栄養リスクのレベルが“中”及び“高”の患者（入所者）に対しては、栄養アセスメント（Ⅰ）と（Ⅱ）を作成する必要があります。

入力を行うセル		式が設定されているセル	
栄養ケア計画			
			新規
コード		初回作成日	
		作成(変更)日	
①	氏名		住所
	入院年月日	②	要介護状態区分 低栄養状態リスク
【栄養ケア計画の概要】			
利用者様及び御家族の意向		④	
解決すべき課題(ニーズ)			
長期目標			
栄養補給量	エネルギー	kcal	たんぱく質 g
			水分 ml
【短期目標・栄養ケア】			
短期目標	栄養ケア	担当者	実施期間 又は頻度
			区分
特記事項			
区分=①栄養補給、②栄養食事相談、③多職種による栄養ケア、④食事、⑤検査・計測、⑥その他			
計画作成者		栄養ケア計画の内容及び実施に同意します。	
所屬名		年 月 日	
所在地		サイン (続柄)	
担当者氏名			
継続区分			

新規又は継続を指定します。

栄養ケア計画で解決すべき課題、改善目標を記述します。

短期目標を達成する事で長期目標の達成へ近ずけます。ここでは、短期目標と栄養ケア実施内容を記述します。

短期目標及び栄養ケア実施内容は、複数の記述が可能です。

表上部に配置されているボタンをクリックする事で、表内に行を追加削除できます

新規の計画、又は変更がある継続の計画の場合、本人又は家族の同意が必要です。そのサイン欄です。

栄養ケア計画の作成者情報を記入します。

シート上のボタンをクリックすると、次の動作を行います。

表内の行が不足した場合や、行数のバランスを変更する時に、簡単に行の追加・削除が行えます。

改善目標行追加

カレントセル（入力用の枠）のある行位置に、“具体的な改善目標”を入力する行を挿入します。

実施内容行追加

カレントセル（入力用の枠）のある行位置に、“栄養ケア実施内容”を入力する行を挿入します。

行削除

カレントセル（入力用の枠）のある行位置を削除します。

a) 入力欄の説明

【栄養ケア計画の概要】

解決すべき課題（ニーズ）	具体的に改善しなければならない問題を記入する。 例) 食事摂取量にむらがある。 水分の誤嚥が激しい為、水分摂取量が不足気味である。
長期目標	最終的な、又は永続的な目標となる内容を記載するのが良い。 複数の栄養ケア計画を通して改善する目標等を記入。 例) 嚥下障害を改善し、経口摂取により必要栄養量を確保し BMI を改善する。
栄養補給量	栄養アセスメント（Ⅱ）で算定した、栄養補給量を転記します。

【短期目標・栄養ケア】

短期目標	解決すべき課題を具体的に改善する目標を記入する。 例) 経口摂取による十分な栄養確保を目標とする。
栄養ケア	短期目標を達成する為に実施する、栄養ケア内容を記入する。 例) 体重・アルブミン値の定期的測定。 摂取可能な刻み状態の適時変更。
担当者	栄養ケアの実施担当者を入力又はコンボボックスから選択します。 コンボボックス内の担当者リストは、『参照情報』の【担当者】に定義された内容が表示されます。 例) 看護師 XX 歯科衛生士 XX
実施期間又は頻度	栄養ケアの実施期間・頻度を入力します。 例) 1ヶ月毎 毎食時 適時
区分	栄養ケア実施内容が、どの区分に属するかを指定します。 ①栄養補給、②栄養食事相談、③多職種による栄養ケア、④食事、⑤検査・計測、⑥その他
特記事項	特に注意しなければならない事柄について記述します。 例) 水分による誤嚥が激しい為、水分摂取の際には必ずトロミを付ける。

b) 計算式等の説明

- ① 基本情報を参照します。基本情報は、ブックレベルの名前定義で参照可能です。
- ② 作成（変更）日現在の年齢を表示します。
- ③ 作成（変更）日現在の在院日数を表示します。
- ④ 栄養アセスメント I の利用者及び家族の意向を参照します。

c) 厚労省配布の様式例との主な差異

- ・ A 4 縦型へレイアウト変更し、他の様式と統一。

2.7. 栄養ケア提供経過記録

栄養ケア提供経過記録用のシートです。

栄養ケアサービス実施についてのコメントを記入する用途に利用します。

入力を行うセル	式が設定されているセル
栄養ケア提供経過記録	
コード	氏名
提供日	サービス提供内容
[栄養補給]	(行追加) (行削除)
[栄養食事相談]	(行追加) (行削除)
[関連職による栄養ケア]	(行追加) (行削除)
[食事]	(行追加) (行削除)
[その他]	(行追加) (行削除)

シート上のボタンをクリックすると、次の動作を行います。

表内の行が不足した場合や、行数のバランスを変更する時に、簡単に行の追加・削除が行えます。

行追加

カレントセルのある行位置に行を挿入します。

行削除

カレントセルのある行位置を削除します

a) 計算式等の説明

① 基本情報を参照します。基本情報は、ブックレベルの名前定義で参照可能です。

b) 厚労省配布の様式例との主な差異

- ・ A4縦型へレイアウト変更し、他の様式と統一。

2.8. 栄養ケアモニタリング

栄養ケアモニタリング用のシートです。

モニタリングは最低でも、低リスク者は3ヶ月（体重測定は1ヶ月毎）、中リスク者は1ヶ月、高リスク者は2週間毎に行う必要があります。

モニタリング項目は対象者毎に違ってくると思います。モニタリングする項目を見極め、修正を加えてください。

		入力を行うセル				式が設定されているセル					
栄養ケアモニタリング											
① ユーID		氏名									
【モニタリング項目及び結果】											
	3ヶ月後の目標	サービス提供前		1ヶ月後		2ヶ月後		3ヶ月後		達成率	
		数値	問題	数値	問題	数値	問題	数値	問題	数値	問題
【アウトカム】											
栄養度			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
嚥下・飲み度			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
欠損リスク			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
主観的健康感・意欲			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
食事に対する満足感			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
【栄養リスク】											
体重(kg)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
BMI			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
体重減少率(%)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
血清アルブミン(g/dl)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
喫食状況			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
・喫食率 - 主食(%)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
・喫食率 - 副食(%)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
・喫食率 - 汁物(%)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
経腸・静脈栄養法			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
解毒			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
【栄養補給量】											
エネルギー(kcal)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
たんぱく質(g)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
水分(ml)			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
（経管エネルギー）			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
（経管たんぱく質）			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
（経管水分）			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
【その他】											
			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
【モニタリング結果の主観的評価】											
評価										記入者	計画改善
										<input type="checkbox"/> 必要	
										<input type="checkbox"/> 必要	
										<input type="checkbox"/> 必要	
総合評価										<input type="checkbox"/> 必要	
										<input type="checkbox"/> 必要	
総合評価ランク		総合評価年月日		総合評価記入者							

全患者（入所者）で共通となるアウトカム評価用のモニタリング項目です。病院・施設内の基準に合うように修正しましょう。

計測値や身体状況の変化から、低栄養リスクの発見、又は改善度合を確認する為のモニタリング項目です。

栄養補給量のモニタリング項目です。

経過観察、多職種での課題となった、対象者別に必要なモニタリング項目を記載します。

モニタリング時の評価を記入します。

栄養ケア計画に終了時や、退院（退所）時に、総合的な評価判定を記入します。

課題や改善項目を今後の栄養ケアに役立てます。

a) 計算式等の説明

- ① 基本情報を参照します。基本情報は、ブックレベルの名前定義で参照可能です。
- ② サービス提供前の日付に対する、経過週・日数が表示されます。
- ③ 身長及び体重より BMI を計算します。身長は栄養アセスメント I より参照します。
- ④ 前回計測体重からの減少率を表示します。
- ⑤ 栄養ケア計画の栄養補給量を表示します。
- ⑥ 3ヶ月後の目標値の達成率を表示します。直近のモニタリング値（達成率列に近いモニタリング値列）が利用されます。
- ⑦ モニタリング日が表示されます。

b) 厚労省配布の様式例との主な差異

- ・ アウトカムの評価項目を変更（生活機能・身体機能⇒痴呆度・寝たきり度 等）
- ・ 栄養補給量の喫食率・経管栄養欄の追加
- ・ 達成率を最終列に分離
- ・ 評価記入欄を下段に横長で配置

2.9. 参照情報

各シートの入力規則で利用されるリストです。

コンボボックスが表示されるセルのリストは、このシート内容を表示しています（一部のコンボボックスは違います）。

ツールバーの“参照情報入力”をクリックし、凹状態にする事で、参照情報シートが表示変種可能となります。データの修正後は、ツールバーをクリックして元の状態に戻します。

入力を行うセル
式が設定されているセル

このシートは、栄養ケア関連のシートで参照されるリストを定義しています。

【担当者】参照リスト 名前定義リスト担当者			(行追加) (行削除)
表示名	備考		

担当者名のデータです。

【寝たきり度】及び【活動係数】参照リスト 名前定義リスト寝たきり度、リスト活動係数				(行追加) (行削除)
表示名	備考		活動係数	
G2	意識レベル低			1.1
G1	「寝たきり」重度(自力では寝返り出来ない)			1.2
B2	「寝たきり」介助(自力で寝返り出来ない)			1.2
B1	「寝たきり」自力で寝返り、食事、排泄をベッドから離れて行う			1.25
A2	「寝たきり」外出の頻度が少なく、日中も寝たきり生活をしている			1.3
A1	「寝たきり」介助により外出し、日中ほとんどベッドから離れて生活する			1.3
J2	「生活自立」施設内のみで生活する			1.4
J1	「生活自立」施設外関係を利用して外出する			1.4
L1	身体活動レベルⅠ			1.5
L2	身体活動レベルⅡ			1.75
L3	身体活動レベルⅢ			2

寝たきり度、活動係数のデータです。
痴呆度と活動係数の対応は、ここで行われています。

【痴呆度】参照リスト 名前定義リスト痴呆度			(行追加) (行削除)
表示名	備考		
I	痴呆無し		
II	何らかの痴呆を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している		
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られるが、誰かが注意してしまえば自立できる。		
IIIa	家庭内で上記IIの状態が見られる。		
IIIb	家庭内でも上記IIの状態が見られる。		
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。		
IVa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。		
IVb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。		
V	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医を必要とする。		

痴呆度のデータです。

【ストレス度】及び【ストレス係数】参照リスト 名前定義リストストレス度、リストストレス係数				(行追加) (行削除)
表示名	備考		ストレス係数	
S1	ストレス無し			1.1
S2	レベル1 術後			1.2
S3	レベル2 感染症(軽症)			1.3
S4	レベル3 外傷			1.4
S5	レベル4 感染症(中等度)			1.4
S6	レベル5 感染症(重症)			1.5

ストレス度、ストレス係数のデータです。
ストレス度とストレス係数の対応は、ここで行われています。

【摂食・嚥下障害重症度】参照リスト 名前定義リスト摂食障害重症度			(行追加) (行削除)
表示名	備考		
正常範囲	摂食・嚥下問題なく、通常の食事を摂取し、医学的管理・リハビリテーションを必要としない範囲。		
軽度問題	摂食・嚥下で軽度の問題があり、若干の食形態の工夫が必要なレベル。		
口腔問題	主に歯槽期や口腔期の中重度から重度の障害があるレベル。		
機会誤嚥	通常の摂食方法では誤嚥を認めるが、各種の誤嚥、嚥下障害防止手段で誤嚥が十分に防止できるレベル。		
水分誤嚥	水の誤嚥を認め、これこれして誤嚥・嚥下障害防止手段の効果は不十分であるが、食物形態効果は十分に認めるレベルである。		

摂食・嚥下障害重症度のデータです。

これらの値は、栄養ケアマネジメントで共通に利用するものです。

特に、寝たきり度と活動係数、ストレス度とストレス係数は、必要エネルギー量の計算に利用しますので、院内（施設内）で統一基準を作成し、あらかじめ見直しを行います。

見直しを行った後は、『E x c e l のテンプレートとして登録』する事で、同じ入力を行う手間を省きましょう。

シート上のボタンをクリックすると、次の動作を行います。

行追加	カレントセルのある行位置に行を挿入します。
行削除	カレントセルのある行位置を削除します

2.10. 基本情報

新規の栄養マネジメント.xls を開くと表示されます。又は、栄養ケアツールバーの基本情報をクリックすると表示されます。

患者（入所者）の情報を設定します。

(*)印の項目は、入力が必要です。他の項目は必要に応じ入力します。

入力が完了したら、“OK” ボタンをクリックしてください。

画面が閉じます。

データは、非表示の基本情報シートに格納されます。

3. 便利な使い方

3.1. Excelのテンプレートとして登録

「栄養ケアマネジメント.xls」は、1Book で1名の管理を行います。

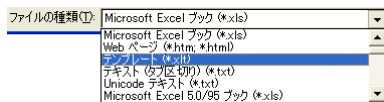
新規に作成する場合、「栄養ケアマネジメント.xls」をコピーしたり、又はダウンロードして利用するのは不便です。Excelのテンプレートとして登録すると、メニュー「新規作成」を選択するだけで「栄養ケアマネジメント.xls」が利用できるようになります。

①テンプレートの登録方法

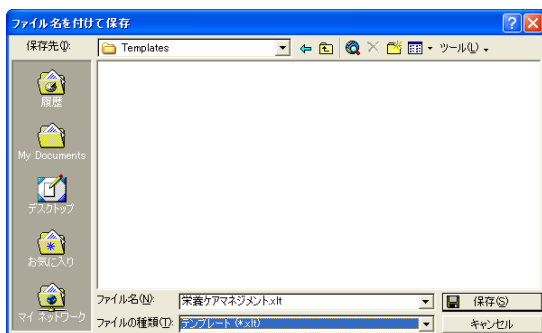


メニューより、「ファイル」⇒「名前を付けて保存」を選択します。

「ファイル名を付けて保存」画面が表示されます。

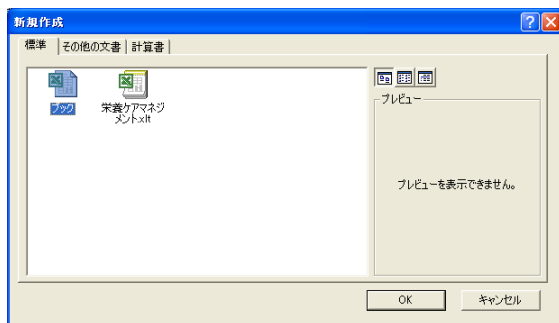


ファイルの種類で、テンプレート (*.xlt) を選択します。



保存先が Templates にかわり、ファイル名が栄養ケアマネジメント.xlt となります。

②テンプレートの利用方法



登録したテンプレートを利用するには、メニューより、「ファイル」⇒「新規作成」を選択します。利用するテンプレートを選択します。

3.2. Excelファイル名の付け方

「栄養ケアマネジメント.xls」は、1Book で1名の管理を行います。

複数名分の Book を作成管理する為に、患者(入所者)の名前をファイル名に付けて管理します。名前のみですと重複する事もありますので、作成年月日等を付加した名称が良いと思います。

例)

札幌太郎 20060801.xls

札幌太郎 060801.xls

4. Q A

(Q1) 再スクリーニング・再アセスメントの時は？
(A) スクリーニングシート、アセスメントシートを、それぞれコピーして利用します。
(Q2) 栄養ケア計画の継続時は？
(A) ケア右上のタイトルを継続に変更し、継続区分を変更無しの継続とします。 計画内容の見直しがある場合は、再度確認のサインを受領する必要があります。
(Q3) 書式を変更する際の注意点は？
(A) 名前定義に注意してください。
(Q4) 行の追加削除がうまく動作しない。
(A) 名前定義が不正となっているか、又はマクロが無効になっている。
(Q5) マクロの利用で“いいえ”を選んでしまった。
(A) シートを一度閉じて、再度開きなおします。マクロの利用で“はい”を選びます。
(Q6) 印刷の大きさが中途半端。
(A) 行の追加・削除ボタンがあるシートは、空行を追加することで体裁を整えられます。 それ以外の場合は、書式変更の状態にし、行高を調整します。 印刷エリアの定義が不正となっている可能性もあります。その際は、再度印刷エリアを再定義します。
(Q7) 印刷が複数毎になってしまう。
(A) 前 Q と同様の調整をします。
(Q8) 介護度が見直しになった場合。
(A) 別の Book に新たに登録します。
(Q9) 栄養ケアツールバーが表示されない（消してしまった）。
(A) メニュー 「表示」⇒「ツールバー」⇒「栄養ケア」を選択します。
(Q10) V B A って？
(A) Visual Basic for Application の略です。 ベーシック言語と呼ばれるプログラム言語のひとつです。 「ツール」⇒「マクロ」⇒「Visual Basic Editer」で VBA の編集を行う事が可能です。
(Q11) 行高が低くてデータが表示できない。
(A) ツールバーの“シート書式変更”ボタンで、シート書式変更ができる状態にし（ボタンが凹状態）、行高を調整します。調整後は、“シート書式変更”ボタンを再度クリックし、シート書式変更が不可の状態に戻します。
(Q12) ひとつの入力セルの中で、改行したい。
(A) ひとつのセル内で改行したい場合は、A l t キーを押しながら E n t e r キーを押します。
(Q13) 選択を行うコンボボックスのリスト内に必要なデータが無い。
(A) コンボボックスが表示されるセルは、入力規則で入力値にリストが指定されています。 これらの値は、参照情報シート内の値を参照していますので、『参照情報』に値を追加登録します。

(Q14) 下側に空白行が出てきた。

(A) 表の行を削除すると、シート下側に空白の行が表示される場合があります。

非表示になっている行が上にシフトされる際に可視状態になっているものです。使用上、気にする必要はありません。プログラムで自動的に穂表示にする事もできますが、あえて行っておりません。

気になる場合は非表示にする事もできます。

ツールバーの“シート書式変更”ボタンで、シート書式変更ができる状態にし（ボタンが凹状態）、非表示にする行を選択反転します。マウス右ボタンを押してショートカットメニューを表示し、“表示しない”を選択します。

非表示設定後は、“シート書式変更”ボタンを再度クリックし、シート書式変更が不可の状態に戻します。

5. 補足説明

5.1. シート保護について

栄養ケアツールバーによる“シート書式変更”の動作は、「ツール」⇒「シートの保護」or「シート保護の解除」を VBA でおこなっています。メニューからの操作で、パスワード付きでシート保護を行った場合、ツールバーによる解除はできなくなります（パスワード指定欄が無い為）。

5.2. 各シート間の参照について

各シートは、セルの参照を行っています（身長、カロリー等）。

再スクリーニング、再アセスメント時にシートをコピーして利用しますが、参照しているセルの値に注意が必要です。

たとえば、“栄養ケア計画”の“利用者及びご家族の意向”欄は、“栄養アセスメント I”の“利用者及び家族の意向”を参照しています。

再アセスメント時に“利用者及び家族の意向”の内容が見直された場合、新規にコピーした栄養アセスメントシートを参照するように、栄養ケア計画シートの修正が必要となります。

例) コピーした栄養アセスメントのシート名が“栄養アセスメント I (2)”の場合

=IF(栄養アセスメント I !\$G\$12="", "", 栄養アセスメント I !\$G\$12)

↓

=IF(栄養アセスメント I (2)!\$G\$12="", "", 栄養アセスメント I (2)!\$G\$12)

のように、参照シート名を変更します。

5.3. 名前の定義について

定義名	定義レベル	参照内容（「」はシート名）
リスト.担当者	ブック	「参照情報」 担当者名一覧のセル範囲
リスト.寝たきり度	ブック	「参照情報」 寝たきり度一覧のセル範囲
リスト.活動係数	ブック	「参照情報」 寝たきり度に対応する活動係数一覧のセル範囲
リスト.痴呆度	ブック	「参照情報」 痴呆度一覧のセル範囲
リスト.ストレス度	ブック	「参照情報」 ストレス度一覧のセル範囲
リスト.ストレス係数	ブック	「参照情報」 ストレス度に対応するストレス係数のセル範囲
リスト.摂食障害度	ブック	「参照情報」 摂食障害度一覧のセル範囲
基本.コード	ブック	「基本情報」 コードのセル
基本.ふりがな	ブック	「基本情報」 ふりがなのセル
基本.フロア	ブック	「基本情報」 フロアのセル
基本.ベッド	ブック	「基本情報」 ベッドのセル（フロアの右欄）
基本.氏名	ブック	「基本情報」 氏名のセル
基本.住所	ブック	「基本情報」 住所のセル
基本.性別	ブック	「基本情報」 性別のセル
基本.生年月日	ブック	「基本情報」 生年月日のセル
基本.退院年月日	ブック	「基本情報」 退院年月日のセル
基本.特記事項	ブック	「基本情報」 特記事項のセル
基本.入院年月日	ブック	「基本情報」 入院年月日のセル
基本.要介護度	ブック	「基本情報」 要介護度のセル
寝たきり度	シート	「栄養アセスメントⅠ」
活動係数	シート	「栄養アセスメントⅠ」
ストレス度	シート	「栄養アセスメントⅠ」
ストレス係数	シート	「栄養アセスメントⅠ」
具体的施策	シート	「栄養ケア計画」
栄養補給	シート	「栄養ケア提供経過記録」
栄養食事相談	シート	「栄養ケア提供経過記録」
関連職による栄養ケア	シート	「栄養ケア提供経過記録」
食事	シート	「栄養ケア提供経過記録」
その他	シート	「栄養ケア提供経過記録」